

## ※「総論」、「短報」、「事例研究」の原稿の書き方 例

(タイトル(表題)から要旨/抄録まで段組み1段、上下余白:30mm、左右余白:20mm、  
文字数:46字、行数:38行)

タイトル(表題)

○執筆者氏名<sup>1)</sup>、共同研究者名<sup>2)</sup>.....

執筆者所属先名<sup>1)</sup>、共同研究者所属先名<sup>2)</sup>.....

\*日本語表記以外に英語でのタイトル(表題)のみ又は氏名/所属先のみを記載する場合にはそれぞれの下に記載する。\*ただし、タイトル(表題)と執筆者等の両方とも日本語表記と英語表記を記載される場合は、タイトル(表題)と執筆者等の日本語表記の下にまとめて記載する。

## 要旨/抄録 400字以内

\*英文の要旨/抄録がある場合は日本語の要旨/抄録の下に記載する

本文書き始め

(ここから、段組み2段、上下余白:30mm、  
左右余白:20mm、文字数:23字、行数:38行)

\*点線矢印は、文章の書き方の流れ



次のページへ

\*前ページの続き

## 図 1

\*別ファイルの場合には、必ず挿入箇所を本文中にわかりやすく記載する

## 表 1

\*別ファイルの場合には、必ず挿入箇所を本文中にわかりやすく記載する

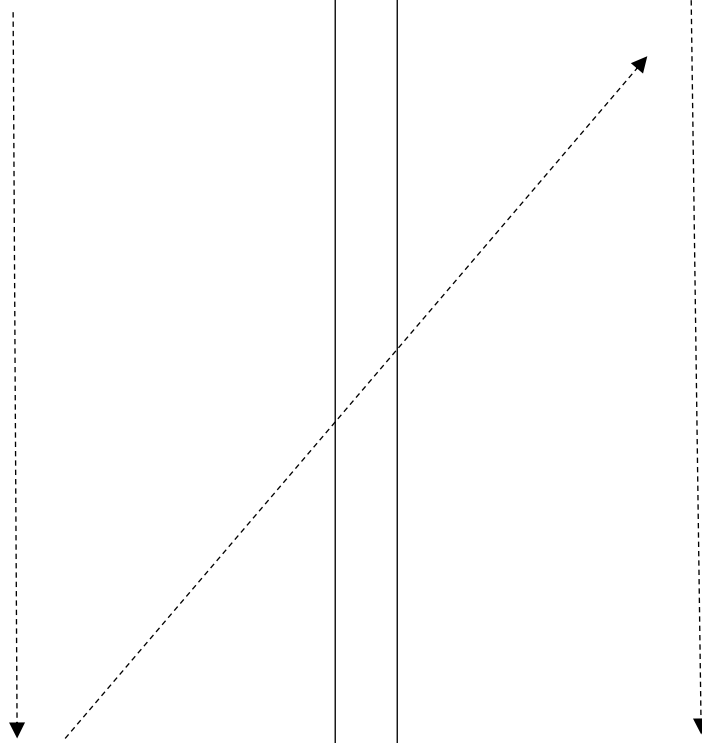
次のページへ

# 強調したい

## 図 2

\*別ファイルの場合には、必ず挿入箇所を本文中にわかりやすく記載する

\*前ページの続き

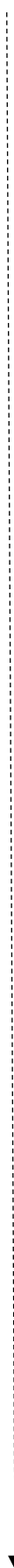
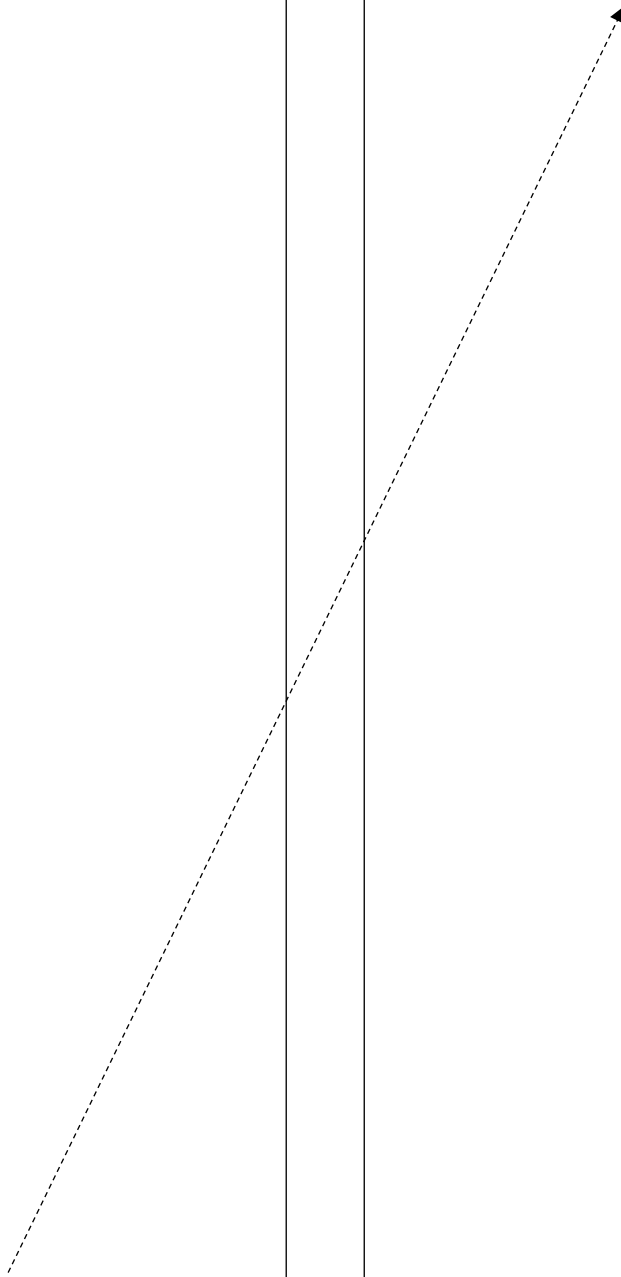


# 強調したい

## 表 2

\*別ファイルの場合には、必ず挿入箇所を本文中にわかりやすく記載する

\*前ページの続き

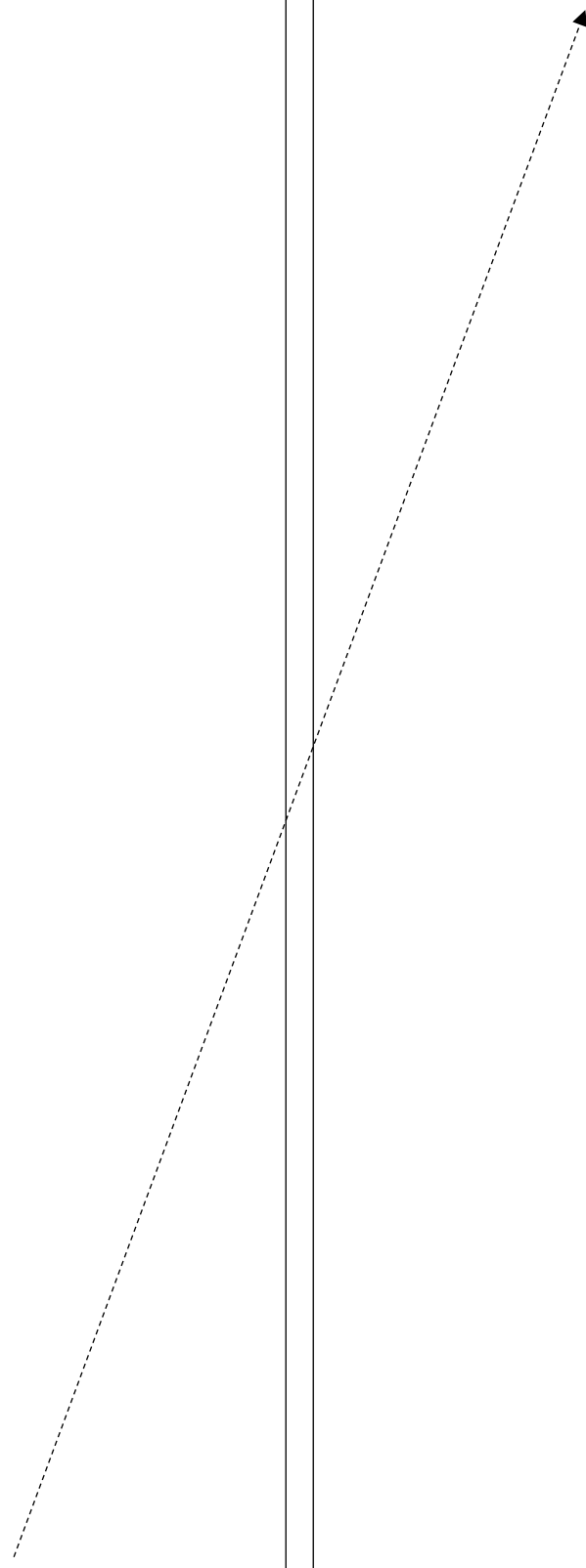


# 写真 1

\*別ファイルの場合には、必ず挿入箇所を本文中にわかりやすく記載する

次のページへ

\*前ページの続き



次のページへ

\*前ページ続き

本文書き終わり

参考文献：

著者名、表題、雑誌名、  
発行年（西暦）；巻：頁-頁 を記載

終わり